

2017年7月4日

## 「ギガらくサイネージ」にリアルタイム配信機能等を追加

～観光、災害情報の即時配信がさらに便利に～

- NTT 東日本は、クラウド型デジタルサイネージサービス「ギガらくサイネージ(動画プラン)」(以下、本サービス)について、観光や災害対策分野等で活用可能な新機能を 2017 年 7 月 10 日より提供開始いたします。
- 観光地の混雑情報や災害時の避難情報といったリアルタイムでの提供が求められる情報を、複数のサイネージへ即時配信可能な「リアルタイム配信機能」や、ホームページ等の Web コンテンツをサイネージ用のコンテンツに利活用することで、コンテンツ作成への負担を軽減する「Web コンテンツの変換機能」等のご利用が可能となります。
- 本サービスの月額利用料は従来の価格のまま据え置きとなります。既に本サービスをご利用のお客さまは、セットトップボックス(以下、STB)を対応機種へご変更いただくことによって、新機能を従来通りの月額利用料でご利用いただけます。

### 1.提供の背景と目的

現在、観光立国の実現に向け、ストレスなく、安全かつ快適に観光を満喫できるような街づくりが求められており、訪日外国人を含めた多様な旅行者に対して、世界に誇る日本の文化や伝統に関する情報を伝える方法について検討されています。また、地震や台風等の災害時には、緊急情報をいかに正しく迅速に伝えるかが課題となっており、観光や災害対策分野の情報伝達におけるデジタルサイネージ等のICT技術の活用が期待されています。

NTT 東日本は、このような課題への解決方法として、2015 年から提供しているクラウド型デジタルサイネージサービス「ギガらくサイネージ(動画プラン)」に、2017 年 7 月 10 日より新機能を追加します。これによって、観光地の混雑情報や災害時の避難情報といったリアルタイムでの提供が求められる情報を、複数のサイネージへ即時配信可能な「リアルタイム配信機能」をはじめ、ホームページ等の Web コンテンツをサイネージ用のコンテンツに利活用することで、コンテンツ作成への負担を軽減する「Web コンテンツの変換機能」等のご利用が可能となります。

なお、これらの機能の実現には、日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鶴浦博夫)サービスエポリューション研究所が開発した Web-based サイネージ配信制御技術<sup>※1</sup>を活用しています。

※1 インターネットで一般的に使われている標準的な通信等の仕組みだけでデジタルサイネージへの配信を可能にし、Web ブラウザ搭載端末をサイネージ受信機として活用することなどを実現します。

### 2.サービス概要と新機能概要

#### (1) サービス概要

本サービスは、画像・動画や Web コンテンツ等、さまざまなコンテンツを、ディスプレイへ表示できるクラウド型デジタルサイネージサービスです。HTML5 形式に対応した Web-based サイネージ配信制御技術の活用によって、コンテンツの「リアルタイム配信機能」や「Web コンテンツの変換機能」等をご利用いただけるようになるため、より便利に本サービスの運用が可能になりました。また、コンテンツ登録配信補助機能の提供によって、画面分割などの編集が簡単に行えるようになりました。

#### (2) 新機能概要

##### ① リアルタイム配信機能

配信サーバとセットトップボックス(以下、STB)間の双方向通信を実現するプロトコル「WebSocket」を採用しているため、配信サーバ上でのコンテンツ等の更新を即時に STB へ伝え、配信することが

可能です。

② Web コンテンツの変換機能

ホームページ等の Web ページを予め設定したテンプレートに合わせ、最適なデジタルサイネージコンテンツのサイズへ変換し、配信が可能です。オートスクロールにも対応しているため、既存のホームページ等のコンテンツを有効活用することができます。

③ コンテンツ登録配信補助機能

画面分割や割り込みテロップの挿入などが簡単に行える「コンテンツ登録配信補助機能」を提供します。コンテンツの管理・編集に加えて、複数の STB・ディスプレイに対する配信スケジュールの設定も可能ですので、複数拠点への一斉周知・連絡を簡単に行うことができます。

④ 外部コンテンツ連携機能

お客さまが用意した独自コンテンツの他に、ニュースや天気予報、緊急時には災害情報等、第三者が作成している外部コンテンツとの連携が可能です。<sup>※2</sup>

※2 外部コンテンツの利用には、別途外部コンテンツ事業者との契約が必要です。

### 3.月額利用料・提供条件等

本サービスの月額利用料は従来の価格のまま据え置きとなります。月額利用料や提供条件等の詳細は下記 URL をご参照ください。

ギガらくサイネージ HP : <https://flets.com/signage/>

また、既に本サービスをご利用のお客さまは、STB を対応機種へご変更いただくことによって、新機能を従来通りの月額利用料でご利用いただけます。

### 4.新機能の提供開始日

2017 年 7 月 10 日(月)

### 5.今後の展開

NTT 東日本は観光や災害対策分野に取り組まれるお客さまに対して、本サービスのご提案を進めていきます。

ハードウェア選定やコンテンツ企画、および保守運用については、デジタルサイネージ事業において多くの導入事例を持つピーディーシー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：菅原 淳之）と協業し、同社の協力を得ながら提案活動を実施することとします。

両社はこれまでの自治体提案での受注実績をもとに、今後も幅広く協力して提案を実施していきます。

### 6.お申し込み・お問い合わせ先

(1) お客さまを担当する弊社営業担当者にお申し込み・お問い合わせください。

(2) インターネットによるお申し込み・お問い合わせ

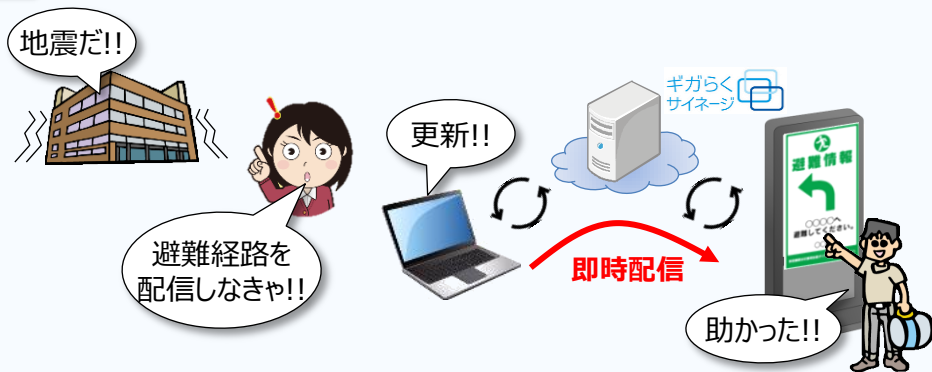
ギガらくサイネージ HP : <https://flets.com/signage/>

お問い合わせフォーム : <https://flets.com/generic/inquiry/soho/signage.html>

【別紙】 新機能概要

1

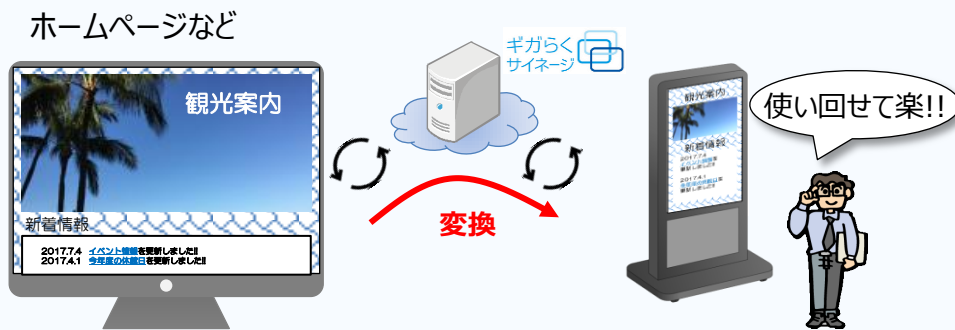
## リアルタイム配信機能



コンテンツをサイネージへ即時配信可能。  
周知したい情報を伝えたいタイミングで配信できるので、  
災害時などに活躍が期待されます。

2

## Webコンテンツの変換機能



ホームページ等のWebページを、予め設定したテンプレートに基づいて  
サイネージコンテンツ最適なサイズへ変更です。  
オートスクロールなども可能です。

3

## コンテンツ登録配信補助機能



画面上部から分割パターンを選び、右部からパーツを配置するだけで  
画面分割を施したコンテンツの登録が簡単に行えます。  
複数のSTBに対する一斉配信も簡単に行うことができます。

4

## 外部コンテンツ連携機能



お客さまが用意した独自コンテンツの他に、  
第三者が作成しているニュースや天気予報、緊急時の災害情報等  
外部コンテンツとの連携が可能です。